建設産業の今を伝え未来を考える

建設業

No. 544
Dec.2022/Jan.2023





一般財団法人 建設業振興基金 〒 105-0001 東京都港区虎ノ門4-2-12虎ノ門4丁目MTビル2号館 TEL:03-5473-4584 FAX:03-5473-1594 URL: https://www.kensetsu-kikin.or.jp/

### CONTENTS

巻頭 年頭所感

01

### 特集

### 対談持続可能な建設業にむけて

02

- ■長橋 和久氏
  - 国土交通省 不動産·建設経済局長
- ■谷脇 暁
  - 一般財団法人 建設業振興基金 理事長

### **FOCUS**

工業高校紹介

静岡県立沼津工業高等学校

■インタビュー: 千葉 智博 先生

### **PRESCRIPTION**

### 日本経済の動向

10

■ インフレ・通貨安・世界経済減速リスクに直面する新興国

#### 建設経済の動向

■出口が見えない資材価格の高騰

#### 連載 働き方改革の定着に向けて

~2024年の時間外労働上限規制への対応~

■【第7回】 新規採用戦略

### 連載 クイズ 名建築のつくり方

14

■【第9回】 神奈川県立近代美術館 (現・鎌倉文華館 鶴岡ミュージアム)

### お役立ち連載

建設キャリアアップシステム を活用しよう! 【第4回】

### いつでもチェック!! (L25 Web Web 建設産業の今を伝え 建設產業女性定着 未来を考える 支援ネットワーク 『建設業しんこう』は Webでも ご覧いただけます。 しんこうWeb https://www.shinko-web.jp/ メルマガ登録は コチラから!

「建設業しんこう」に関するご意見・ご要望

TEL: 03-5473-4584 (企画広報部) MAIL: kikaku@kensetsu-kikin.or.jp

印刷:日経印刷株式会社

◎本誌記事の無断転載を固く禁じます。



明けましておめでとうございます。

令和5年の新春を迎え、謹んで年頭のご挨拶を申し上げます。 昨年2月にロシアによるウクライナへの軍事侵攻が始 まり、戦争の長期化によって、世界に大きな影響を与えてい ます。また、コロナ禍からの活動再開に伴って社会に活気が 戻りつつある一方、世界的な物価高騰と急激な円安の影響 もあり、原料や資材価格が高騰するなど、先行きが不透明な 状況が続いております。

新規入職者の不足や離職率の高さが叫ばれる建設産業に おいて、次世代を担う新たな人材の確保のためにも、賃金 上昇、週休二日を前提とした長時間労働の解消、職場環境の 改善などとともに生産性の向上が求められています。

このために本財団が特に力を入れている事業の一つに 建設キャリアアップシステム (CCUS) の運営があります。 令和元年4月に本格運用を開始し、昨年10月末までに100 万人を超える技能者の方にご登録いただきました。これまで の業界団体と国による強力かつ一体的な取り組みと関係の 皆様の熱意の賜物です。この場をお借りしまして、ご協力と ご支援に対し厚く御礼を申し上げます。100万人を超えた ことは大きな通過点です。CCUSが建設業界共通のソフト インフラとして、技能と経験に応じた賃金の支払いなど 技能者の処遇改善等を図り、好循環を生み出すための強力 な原動力となることで、一人でも多くの人が建設産業に 入職してもらえるよう引き続き、国や業界関係者の皆様と 連携して、その普及促進に邁進して参ります。さらには、

建設現場で働いている100万人の技能者の方が登録する 大きなシステムとなったことも踏まえ、そのスケールを活 かした新たな活用方策についても検討していきたいと考え ています。

建設産業人材確保・育成推進協議会においては、昨年、 人材育成等に尽力している優良企業等の顕彰制度を創設し、 3社が国土交通大臣より表彰を受けました。また、全国各地 での技能者の育成訓練の取り組みを支援させていただきま した。今後も各地で取り組まれている人材確保への支援、 広報活動の拡充、若者や女性、就職に関わる人々に建設業の 魅力や情報を届ける努力を継続して参ります。

また、昨今、建設業界でもDXが推進される中、電子イン ボイスや電子帳簿保存法への対応など電子化の流れによっ て、本財団で推進している電子商取引 (CI-NET) の利用企 業数がこれまで以上のペースで増加してきております。建設 業界標準のEDI(電子データ交換)として相互に利用できるメ リットを生かし、さらなる普及に力を入れて参ります。

さらに、施工管理技術検定については、一昨年度に制度改 正された技士補制度に対応し、建設工事の適正な施工の確保 等に貢献するとともに、建設業経理士検定試験の実施や登録 経理講習の積極的な展開を通じて、建設業の経営改善を図る 等、建設業のお役に立つよう努力して参ります。

最後に、本財団の活動に対する関係各位のご理解とご協力 をお願いするとともに皆様方の本年のご健勝とご多幸を祈念 して、年頭のご挨拶とさせていただきます。

# 特に対ける建設業にむけて



担い手の確保・育成や生産性向上といった課題に加え、 昨今の建設資材の急激な価格変動への対応も迫られる建設業界。 今と未来を見つめ、どのような取り組みがなされていくのか、 そして登録者100万人を超えた建設キャリアアップシステムの活用と展望など、 国土交通省長橋不動産・建設経済局長にお話を伺いました。

国土交通省 不動産·建設経済局長 長橋 和久 氏……(以下、長橋) 一般財団法人 建設業振興基金 理事長 谷脇 暁 ……(以下、谷脇)

### 現場で活躍する人々をいかに守り支えるか

谷脇: 局長の想いや展望を伺える貴重な機会ということで、 『建設業しんこう』の中でもこちらの対談企画は特に ご好評をいただいています。本日はよろしくお願いいた します。

長橋:よろしくお願いいたします。

谷脇: 局長は東日本大震災の影響も色濃かった2011年に 入札制度企画指導室長を務められ、その後2021年7月 より不動産・建設経済局長に就任されました。この10年 での建設業界の変動や、局長就任から現在までを振り 返って、どのような想いを感じていらっしゃいますか?

長橋:私が入札制度企画指導室長を務めた当時は、長らく公 共事業費も減少し、建設投資額もそれ以前より半減する など、非常に厳しい局面でした。マーケットが縮小すると ともに、ダンピング受注の影響により現場で働く方々に もしわ寄せがいき、労務費の減少や処遇の悪化も見ら れ、働き手の高齢化や担い手不足も顕著になるなど、多 くの課題が浮き彫りになった時期でもあります。そうし た中で東日本大震災が起こったことで、復興支援も含め て様々な取り組みを行わねばならない、非常に緊迫した 時局だったと記憶しています。そうした状況を踏まえる と、ここ10年は事業量も投資額も安定的に推移してお り、労務単価についても10年連続で上昇するなど、環境 的にもずいぶん改善されてきたのではないでしょうか。 ただし、現場の働き方や技能者の処遇といった面は、他 の産業と比べてまだまだ不十分な点が見受けられます。 特にコロナ禍以降、新しいライフスタイルに合わせた働

き方という概念が叫ばれて久しいですが、なかなか休み が取れない現場などは若い方目線から見て魅力的な職 場とは映りづらいでしょう。またここに来て、建設資材価 格の大幅な変動も起こっており、業界の重層下請構造と 相まって、現場の雇用情勢や技能者の方の処遇にも厳し い影響を与えているものと捉えています。その根本的な 契約制度自体を改めて見直し、業界全体を引き上げて いくことを考えなければ、今後の建設業は非常に厳しい ものになると実感しているところです。

谷脇: 今お話に挙がった建設資材価格の変動への対応など は、まさに喫緊の課題と言えますね。そうしたことも踏ま え、2022年8月より新たに「持続可能な建設業に向けた 環境整備検討会」を立ち上げたと伺いました。抜本的な 部分も含めた検討会とのことですが、改めてその狙いを 教えていただけますか。

長橋:「持続可能な建設業に向けた環境整備検討会」は、先程 挙がった担い手の確保や生産性向上といった従前から の建設業における課題や、昨今の建設資材の急激な価格 変動といったことを踏まえ、将来にわたり建設業を持続 可能なものとするための環境整備に必要な施策の方向 性について検討を行うため設置したものです。建設業に は様々な問題がありますが、まず考えねばならないのは、 現場で働く方の賃金をいかに安定的に支払えるかという こと。資材価格の転嫁などのしわ寄せを防ぎ、労務費が しっかりと現場の方々へ行き渡るような仕組みづくりを 行うことが第一です。また、従来から問題視されている行 き過ぎた重層下請構造もそうした課題と無関係ではない ため、その適正化も含めた議論を行っています。今回の検 討会では土木や建築といった建設生産システムに精通し た方だけでなく、労働政策の専門家なども交え、雇用や 需給調整といった様々な角度から検討を図っています。

### 全国全職種平均値は時間外労働時間を短縮するために必要な費用を反映し、10年連続の上昇



注1)金額は加重平均値にて表示。平成31年までは平成25年度の標本数をもとにラスパイレス式で算出し、令和2年以降は令和2年度の標本数をもとにラスパイレス式で算出した。 注2) 平成18年度以前は、交通誘導警備員がA·Bに分かれていないため、交通誘導警備員A·Bを足した人数で加重平均した。



谷脇: 行き過ぎた重層下請構造は、以前から建設業が抱える 課題の一つですね。建設業は受注産業なので仕事の波 もあり、経営のためにはある程度スリム化を図ってアウ トソーシングせざるを得ませんが、その流れの中で徐々 に重層化が進んでいく…。問題は、そのしわ寄せが技能 労働者の方に及んでしまう点ですね。 長橋: 仰るとおりです。そうした働き手の雇用安定・維持を図る制度として「建設業務労働者就業機会確保事業」がありますが、送出事業主の許可基準など、まだまだハードルが高い面があると捉えています。たとえばアメリカの場合は公共事業受注者に対して一定の支払い賃金の義務付けがあったり、フランスの場合は労働協約に基づいた最低賃金を課すなどの法律による規制があります。日本においてもそうした法令による規制が必要なのか、日本に合った賃金を下支えする仕組みはどういったものなのかを考慮しながら、制度・運用の改善に向けて厚生労働省と継続的に相談していきたいと思います。

**谷脇**:建設資材価格の変動に関しては、公共工事の単品スライドの取り扱いといったことが課題として挙げられています。特に注目されるのは民間工事での受発注者間の契約の在りようだと思いますが、この点はいかがでしょうか。

長橋:民間工事についても基本的には建設工事標準請負契約 約款がありますが、公共工事のように単品スライドを行 うのは今の民間工事の契約の在り方では難しいと考えま

### 建設キャリアアップシステムの利用状況 (2022年10月末)

#### 技能者の登録数

### 102.4万人が登録

※労働力調査(R3)における 建設業技能者数:309万人

### 事業者の登録数

#### 19.7万社が登録

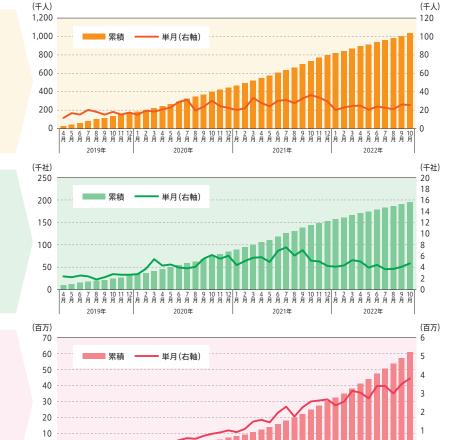
※うち一人親方は6.2万社

### 就業履歷数

### 現場での利用は増加傾向

※10月は過去最高となる380万履歴を蓄積

出所:建設業振興基金データより国土交通省



2021年

2020年

2019年

0

す。スライドするというよりは、契約時点でコストのリスク も考慮した上で合意を取っていく、積み上がるコストに 対してフィーをあわせ、最後に契約を精算するような形 も一つの手法です。工期が長期化する場合には、そうし たやり方も考える必要があります。特に近年は大規模な 案件が増えており、施工が長期間に及ぶケースもありま す。そうした場合には、新たな契約の在り方を考えること も必要だと感じています。

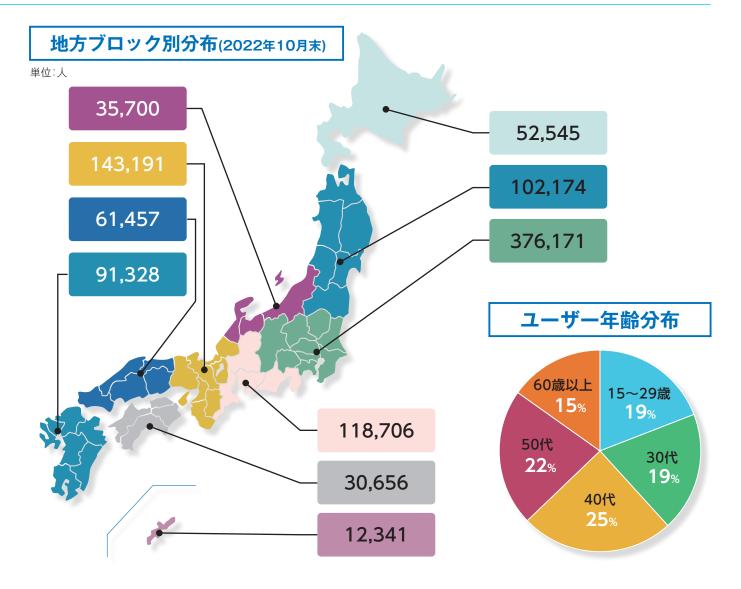
谷脇: 発注者と受注者、元請と下請との間にそうしたリスク 分担ができる構造に変わっていけば、賃金の下支えにも つながっていきますね。

### 登録者100万人超·CCUSの先に見える可能性

谷脇:今やあらゆる産業においてDX(デジタルトランスフォー メーション)が推し進められていますが、建設業に関して はいかがでしょうか?

長橋: 行政の分野ではデジタル庁が中心となり、申請や許可 などのデジタル化に向けて動いています。国土交通省 でもこの1月より、建設業許可と経営事項審査(経審)の 申請の電子化を始めています。また先の経済対策で示 されたBIM(Building Information Modeling)の 推進にも力を入れているところです。BIMを活用するこ とでより業務効率化や生産性向上を図れるほか、工事 におけるコストなどもさらに明確になり、公共・民間問







わず様々な事業に役立っていくものと思います。またデ ジタル化を進めていくことで、ゆくゆくは現場管理の在 り方も変化するはずです。監理技術者がオンラインで2 つの現場を兼務するといった働き方も生じていくので はないかと考え、そうした可能性についても検討を図っ ています。

谷脇: なるほど、デジタル化の推進は将来の働き方にも大きな 影響を与えそうですね。また先ほど挙がった技能労働者 の賃金の下支えやDXにもつながる話ですが、業界の皆 さまとともに進めている建設キャリアアップシステム (CCUS)が、2022年にいよいよ登録者100万人を達成 しました。今後さらに全面的な適用に向けて取り組んで いくわけですが、現在の普及状況やこのシステムの有用 性についてはどのようにお考えですか?

長橋: 登録者数が100万人を超えたということで、業界内にお いてかなり浸透してきた実感があります。建設キャリア アップシステムは、技能者個人の経験や資格を"見える 化"する優れた仕組みであると同時に、デジタル技術に より現場での入退場や出勤・休暇の状況、施工体制など を確認できるツールでもあり、業界にも企業にも個人に も大きなメリットをもたらすシステムです。ただし、いくら 優れたシステムであっても、異なる制度が併存すると効 果は半減してしまうもの。建設キャリアアップシステムを 標準化し、様々な制度に内在させることができれば、より 生産性の向上や事務作業の効率化も図っていけるもの と思います。

谷脇:特に建設業の技能労働者については、その実態が見えづ

らいという声が以前から挙がっていました。建設キャリア アップシステムにより技能者個人の経験や資格が"見え る化"されることは、賃金の下支えに貢献しますね。

**長橋:**建設キャリアアップシステムに登録することで、各々が 自身の本来あるべき処遇を認識でき、転職の際などに もステップアップしていける…そんな機能を制度や契 約の中に盛り込んでいくことが大切だと考えます。自身 の持つ価値を知ることは下支えにつながり、雇用の流 動化や市場の活発化にもつながっていくもの。それは 個人にとってはもちろん、多くの働き手を抱える企業に とってもメリットと言えます。今後は普及のみならず、現 場での利用率をさらに向上させていくことが重要です。 公共・民間双方に、よりこのシステムを周知していきた い考えです。

谷脇:建設キャリアアップシステムには様々な活用方法と大き な可能性がありますね。運営主体である我々建設業振興 基金としても引き続き全力で取り組んでまいります。

### 未来を見つめた担い手の確保・育成

**谷脇:**冒頭でもお話しされていたとおり、働き手の高齢化や 担い手不足の問題については、以前より看過できない状 況が続いています。特に若手世代に対しては入職を促す 様々な施策を取られていますが、賃金や休暇取得などの 処遇面、あるいは建設業へのイメージから敬遠されてい る向きがあるように思います。昔のように "背中を見て学 べ"という姿勢ばかりでは一人前が育ちづらい時代でも あり、今後の担い手確保に向けては建設業への興味・関 心を高めたり、モチベーションの向上につながるような 取り組みも重要になると感じますが、いかがでしょうか?

長橋: はい、まさにそうした取り組みこそ、未来の建設業を支 える軸になると考えます。担い手確保・育成にあたって は建設産業人材確保·育成推進協議会と連携し、SNS を活用した情報発信を行っているほか、小・中・高校に



向けて建設業の魅力を伝えるキャラバンなどを実施し ています。また工業高校で行われる実習にも業界団体 が協力し、専門性の高い体験学習の提供などを試みて います。これは学生たちの興味を高めたり理解を深め たりするだけでなく、企業と学生とを結ぶきっかけにも なり、卒業生の雇用につながっているケースもありま す。こうした取り組みを学校のカリキュラムの中にも組 み込んでいくことができれば、よりその効果は波及する ものと考えます。

谷脇: 学生たちへの早期の働きかけは大切ですね。ただ一方 で、高校卒業後の進路として就職を選ぶ方は以前と比べ て大きく減少しているようです。調べたところ、30年前は 実数で60万人ほどでしたが、近年にはその4分の1程度 まで減少していました。働きかける対象を拡大していく ことも大事かと考えます。また教育訓練にも大いに期待 したいところです。

長橋:我々のほうでも教育訓練に関して、厚生労働省と連携し ながら取り組んでいます。建設キャリアアップシステムな ども訓練の段階から周知し、いずれは研修を受けた方と システムの連携なども図っていければと思います。

谷脇: そうした取り組みができれば、入職段階から建設キャリ アアップシステムの浸透が図れそうですね。人材確保・ 育成に向けては、各地域の建設会社の皆さまも独自に

訓練を行っており、私どもとしてもしっかりと支援してい きたいと思っています。

#### かけ声だけではない「新3K」の実現へ

谷脇:最後に、建設業に携わる方や建設業への入職を検討さ れている方などへのメッセージを伺えますか?

長橋:建設業はものをつくる産業であると同時に、地域のイン フラを守り、安心の日常を守る役割も担う大切な仕事で す。そんな社会的意義の大きな仕事であるにもかかわら ず、他の産業以上に高齢化が進み、担い手不足となって いるのが現状です。そうした現状を変えていくためには、 旧来の3Kのイメージを脱却した「新3K(給与・休暇・希 望)」の実現が不可欠です。単なるかけ声だけではなく、 しっかりと給与を取得でき、しっかりと休める適正な工期 が守られ、若い方が誇りと希望を抱ける本当の「新3K」 の業界としていけるよう、全力で取り組んでいきたいと 思います。

谷脇:大変貴重なお話を伺うことができました。本日はあり がとうございました。

長橋: ありがとうございました。



# FOCUS

# 1日40人の生徒と話して信頼関係を構築。 21世紀を生きる有徳のエンジニアを育てる!

"沼工"の愛称で親しまれる、創立80年以上の伝統ある静岡県立沼津工業高等学校。静岡県東部地域を代表する工業高校として数多くの人材を輩出する同校では、『21世紀を生きる有徳のエンジニアの育成』を掲げ、生徒たちの資質・能力を育む様々な取り組みを行っています。その狙いや内容、展望について、同校の都市環境工学科・千葉智博先生にお話を伺いました。



### 育成する生徒像を確立! PDCA サイクルで意欲と成長を引き出す

例年高い就職率を誇る同校。企業で要職に就いているOBも多く、卒業生と学校とのつながりも就職に強い要因であると話す千葉先生。そうした中で課題となっているのは、新たな入学志願者の獲得だ。

「志願者の減少や定員割れは、他の工業高校と同じく本校でも起こっています。工業高校の魅力をどう伝え、本校の魅力をどう高めていくかは、近年抱えている大きな課題の一つです。その中で本校では2020年度に、新学習指導要領(2022年度より実施)も見すえた新たな教育の基本構想となるグランドデザインと、育てるべき生徒像を示すグラデュエーション・ポリ

シー(GP)の作成に着手しました。まずは アンケートを行い、本校の教員や地元企業の方などを対象に、本校の卒業生に求める資質について答えていただきました。 興味深かったのは、私たち教員が知力・学力などを重視していたのに対し、企業の方は協調性やコミュニケーション能力を重視する回答が多く見られたことです」

そうした地域のニーズなども踏まえ、目指すべき生徒像を『21世紀を生きる有徳のエンジニア』と定めた同校。新たな取り組みの一つとして【沼工GP自己評価】というチェック表を設けた。

「【沼工GP自己評価】は、協働力や行動力といった資質・能力を項目化したもので、生徒たち自身に自己評価をさせるチェック表です。生徒たちの現状を見える化すると

ともに、PDCAを繰り返すことで課題をクリアし、成長していける仕組みとして取り入れています。アクティブ・ラーニングが重要視される中で、【沼工GP自己評価】は学習意欲を高める施策としても有効だと感じます。生徒たちには多角的な視点をもって力を伸ばしていってほしいですし、本校の考え方や取り組みが地域の方や企業の方にも魅力的に伝わればと思います」

### 教員連携・地域連携で 生徒を温かく見守り支える

そうした取り組みとあわせて、教員間で密に意見交換をするための『ディスカスボード』を職員室に設置したり、地域の他校と連携して特徴的な授業を共有するツールを設けたりするなど、様々な試みで学びを支える体制を構築している同校。生徒たちものびのびとした環境の中で明るい笑顔を見せる。

「本校の特徴って何だろう?と周りにたずねると、必ずと言っていいほど挙がるのが"挨拶"という言葉。学校全体として明るい挨拶が飛び交っているのが、本校の特徴の一つです。これは先輩から後輩へと受け継がれた伝統校の良さであり、求められる協調性やコミュニケーション能力の基礎とも言える部分。学校生活を通して、そうした本校ならではの良さを身に着けてほしいです」

# <sup>地域の方々やこどもたちに伝える</sup> 工業高校の魅力・ ものづくりの魅力!!

地域のお祭りや催しにも積極的に参加している都市環境工学科。昨年は土木の日(11月18日)にあわせて沼津港で開催された県の土木イベントにも参加し、こどもたちを対象に消波ブロックづくり体験やレンガ橋づくり体験などのイベントを開催した。「生徒たちがどのような勉強をしてい

るか、ものづくりにはどんな魅力があるのかを、地域の方々やこどもたちに伝えていきたいです。もちろん本校の魅力発信になるのが一番ですが、こどもたちが楽しんで体験してくれることが、建設業の将来にとっても良いことだと考えます」と千葉先生





昨年は有志とともに『沼工改革推進委員会』として活動 した千葉先生。「定員割れなどが起こる中で、改善策を 若手教員で話し合いました。その中で挙がった"対象と なる中学生に合った広告が望ましい"という意見にもと づき、本校でもTwitterやInstagramなどを開始。SNS を積極的に活用して本校の魅力発信を図っています」







高校生ものづくりコンテスト東海大会出場者の選出も兼ねた『静 岡県ものづくり競技大会』に向けて練習を重ねる生徒たち。部活 動ではなく、生徒有志によりチームを組んでいる。「教員も適宜 アドバイスはしますが、基本は先輩たちが後輩たちに教える生 徒主体のスタイル。大会に向けて一丸となって取り組んでいま す」と千葉先生も笑顔を見せる

明るい校風を感じる同校を、地域も温か く見守っている。

「沼津建設業協会さまを通してご紹介いた だいた企業さまへのインターンシップなど も、生徒が将来像をイメージする手がかり になっています。地域の企業さまには現場 見学会や出前授業などでもお世話になっ ており、非常に大きな支えと感じています」

### この町を守り、支え、造っていく 技術者たちを育てたい

教員となって4年目。生徒と明るく話す 姿が印象的な千葉先生だが、教職に就い て1、2年目は非常に苦労したそうだ。 「私自身は普通科から進学して教員となっ たので、他の多くの先生方と比べて工業高 校への認識や知識、実習経験の不足を感 じていました。生徒たちも教壇に立つ先生 のことをしっかりと見ているので、教える 側の"浅さ"は伝わってしまうもの。だから こそ、自主的に技術者向けの講習会や企 業セミナーに参加したり、道路舗装現場を 見学させていただいたりと、積極的に知識 や経験を得ることに努めています。生徒に 同行する現場見学会や出前授業は、私に とっても貴重な体験機会。測量についても 改めて学び直し、今は自信をもって生徒に 教えられるようになりました」

また土木学会のシンポジウムに参加し たり、現場を知るOBの声を聞いたりする など、最新の現場を常に把握できるよう アンテナを高くしている。

「現在はドローン測量についての学びに力 を入れているところ。本校でもスマート専 門高校推進事業の一環として新たにパソ コン室ができたので、ゆくゆくはドローン のデータと解析ソフトを使った実習などを 行っていきたいです。生徒には常に最先端 の技術や情報を教えていきたいですね」

そんな千葉先生が大切にしているの が、生徒との信頼関係の構築。お世話に なった大学教授のアドバイスがその指標 となっている。

「奨められたのは『朝に10人、昼に10人、 帰りのショートホームルームに10人、掃除 の時間に10人と会話をすれば、1日40人 の生徒と話せる。それを毎日続ければ、自 ずと信頼関係が築ける』ということ。信頼関

係のためにはまず声がけが大切、というこ とを教えていただきました。私自身も人と 話すことが好きな性格なので、生徒とは意 識的に話すよう心がけています。話がしや すい環境をつくることは、生徒がのびのび と成長することにもつながると感じます」

中学生のときに故郷の仙台市で東日本 大震災を経験し、インフラや社会基盤を支 える土木の大切さを知った千葉先生。そん な自分が今、沼津という地で教鞭をとるこ とにも不思議な縁を感じている。

「静岡県は南海トラフ巨大地震に備えてい る土地でもあります。私が教育に携わった 生徒たちが、いずれはこの町を守り、支え、 造っていく技術者になってくれたら、これ に勝る喜びはありません。そんな未来を期 待しながら、これからも生徒と向き合い、と もに学んでいきたいと思います」

### コレ推し! 土木建造物



津波対策の一環として2004年に完成した水 門。地上30mに展望施設が併設された、沼津 港のランドマークです。「海が好きでよく散歩を するのですが、その時に目にするのが沼津の シンボルになっている『びゅうお』です」夜間に はライトアップもされる、千葉先生お気に入り のスポットです。



### 静岡県立沼津工業高等学校

〒410-0822 静岡県沼津市下香貫八重129-1

WEB http://www.edu.pref.shizuoka.jp/numazu-th/home.nsf/



# $P_{rescription}$

## 日本経済の動向

### 債務負担増や通貨安圧力に目配せが必要

### インフレ・通貨安・世界経済減速リスクに直面する新興国

みずほリサーチ&テクノロジーズ 主席エコノミスト 対木 さおり

ウクライナ情勢に影響を受けたグローバルインフレの加速と、欧米の利上げに伴う資金流出圧力や通貨安圧力、そして世界経済の減速懸念により、新興国経済は大きなリスクに晒されている。今回は、政府債務負担の増加やデフォルトの波及など、さまざまなリスクに直面する新興国経済の今後を見通すためのポイントを解説する。

### インフレにさらされる新興国

インフレに関しては、ウクライナ侵攻の開始以前も、コロナ禍の影響による供給制約や経済活動の再開を受けて、国際的にエネルギーや食糧などの資源価格の上昇が続いていた。2022年2月のウクライナ侵攻により、ロシアが輸出している石油・天然ガスの高騰に加え、ロシア・ウクライナ両国が世界的な輸出国である小麦価格も急騰、グローバルインフレが一段と加速する事態となった。新興国は、家計支出に占める食糧やエネルギー向け支出の割合が高い傾向にあり、食糧・エネルギー価格の高騰は、先進国に比べて一段と家計を圧迫する傾向が強い。

### 新興国も金融引き締めに舵

主要先進国の金融政策の変化も新興国には新たなリスク要因となっている。過去の事例をみれば、利上げや量的緩和政策の縮小など、特に米国の金融政策の変更は、新興国に流入していた資金の巻き戻しを引き起こすことが多い。たとえば、今次のウクライナ侵攻後の時期と、2013年テーパータントラム(米国量的緩和策の縮小観測に起因する資金流出)の時期を比較すると、22年2月下旬以降、新興国からの資金流出が13年と同様に発生している。現時点では、資金流出の背景がより複合的になっており、資金流出リスク、ひいては通貨安圧力に警戒が必要な状況は続くと見込まれる。こうした中、インフレと通貨安の対応で利上げを余儀なくされる新興国も多く、金利上昇で消費や投資が影響を受けることも想定される。

### 世界経済の減速も新興国に追い打ち

加えて、新興国は、世界経済の減速に伴う輸出の減少の影響も受ける。中国のゼロコロナ政策によるロックダウンの結果としての供給制約の影響に加え、今後、欧米の利上げにより世界経済全体の減速感が強まる場合は、シンガポールや、タイ、ベトナムなどの外需依存型の経済構造を持つ新興国を中心に、輸出の低迷により景気が下押し圧力を受けるリスクが大きくなる。

今後の新興国経済のリスクを見通すうえでのポイントは、

大きく2つ考えられる。第1は、コロナ対策の財政出動の影響もあり、新興国の政府債務残高が増加しているなか、利上げに伴う債務負担増が新興国経済にどのような影響を与えるかである。新興国の財政状況は、コロナ禍の影響で、2020年以降、軒並み悪化している。大陸別でみれば、アフリカ、ラテンアメリカの悪化幅が大きい。食料やエネルギー向けの補助金政策や価格統制をしている国では、資源価格高騰で、今後、財政負担がさらに増す可能性もあり、財政面の脆弱性を抱える一部の新興国にとって、政策面で極めて厳しい状況となっている。

第2は、資金流出と通貨安圧力が続くなかで、対外支払いが困難化することから、デフォルト危機の発生と波及をどう考えるかである。結論を先取りすれば、デフォルトの発生と波及のリスクは、現時点では限定的であると考えられる。経済規模の比較的大きなASEAN主要国やブラジル、インドなどは、外貨準備を着実に積み上げてきているため、即座に対外支払いに窮する状況ではないと考えられるからである。

### 新興国の通貨安の長期化も視野に

しかし、経済規模の比較的小さな新興国では、デフォルト懸念を抱える脆弱国が増加しつつあるのも事実だ。例えば、スリランカでは、すでに外貨準備の枯渇から、政府が2022年5月に国家破綻を宣言し、国際機関の融資を受けながらも、食糧や燃料の輸入のための対外支払いに窮する状況が続いている。

外貨準備不足や経常赤字で経済のファンダメンタルズが脆弱な国々をみれば、局所的なデフォルトの発生確率は高まっている。また、今後の新興国の景気回復については、前述のとおり、利上げとインフレ、世界経済の減速で下押し圧力が大きくなっており、厳しい環境にある。

先行きを展望すると、今後新興国からの資金流出のトレンドが、突発的なイベントにより強まる可能性もある。今後、新興国に対する通貨安圧力が想定以上に長期化する場合には、景気低迷とインフレ加速が同時進行するスタグフレーションの可能性もゼロではない。経済のファンダメンタルズが脆弱な新興国を中心に、政府債務や資金流出の状況に対して、これまで以上に目配せが必要となろう。

### 出口が見えない資材価格の高騰

日経クロステック建設編集長 浅野 祐一

コンクリートや木材、鋼材などの価格がここ2年ほどで大幅に上昇した。原料価格に値下がりの傾向が出て きた資材も存在するものの、短期的には元の価格に戻る要素はほとんど見当たらない。材料価格の動向を解 説するとともに、資材価格の高騰を招いている背景をひも解きながら、今後の情勢を見通してみた。

コンクリートに欠かせないセメント。その主原料となる 石灰石は国内自給率100%を誇る工業資源だ。輸入に 頼らない材料が中核材料となるコンクリートは、価格の 面で安定した"優等生建材"だった。だが、そのコンクリー トの価格が急激に上昇している。例えば、東京17区での 生コンクリートの現場持ち込み価格は、この2年ほどで約 25%も上昇した(2022年10月時点)。

価格上昇の主因は石炭価格の上昇だ。原材料となる石 灰石が自給できても、石灰石からセメントを製造する際に は焼成の工程が欠かせない。この工程で大量の石炭が必 要になる。セメント1tを製造するのに、石炭約130kgを要 するのだ。21年夏ごろと22年夏の石炭価格を比べると、 5倍程度に膨れ上がっている。

その結果、大手セメントメーカーがセメント価格の値上げ を打ち出した。太平洋セメントでは、1t当たり3,000円の値 上げか、石炭価格の変動をセメント価格に反映する「サー チャージ制度」のいずれかを選んでもらうよう改めた。

ただ、このサーチャージ制度、買い手からの評価は芳し くない。主要な買い手である牛コン会社は、出荷よりも前 に締結した契約時の価格で取り引きするため、逐次変動 する価格を、簡単には転嫁できないからだ。しかも、最近 は石炭価格の高騰に、円安の影響も重なり、目先の値上 がりリスクが大きくなっている。

### 需給安定の木材も今は高止まり 鋼材も価格の大幅下落は期待薄

住宅建設などに欠かせない木材価格も高止まりが続 いている。需給逼迫の状況は緩和され、在庫の状況も 安定してきたにもかかわらずだ。例えば、22年9月時点 のスギ乾燥材価格は、1m3当たり12万円弱。21年初頭 まではこの半額程度であり、価格は依然、高い水準にあ る。価格高騰時に調達した木材を加工して出荷している 段階にあるのが、価格が下がらない一因だ。当面は高値 で調達した原材料を使ううえに、住宅需要も比較的堅調 なので、急速な価格低下は見込みにくいだろう。

鋼材の価格も高い水準を保っている。建設物価調査 会のデータによると、H形鋼(SS400、200×100mm、

東京)は、22年10月に1t当たり12.4万円に達した。20 年10月の価格と比べれば約7割も高い。異形棒鋼も同様 の高値を維持した状況にある。

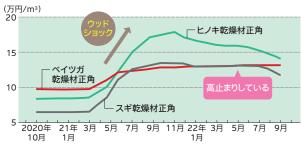
目先では、鉄鉱石や鉄スクラップの価格が下落してい るものの、燃料費や電気代などの製造コストが上がって いる。そのため、原料価格の下落に見合うような大幅な値 下げは考えにくい。約2年前の水準まで戻す可能性は低 いとみるのが妥当だ。

原材料や燃料の価格が高騰する影響は、主要構造材 だけでなく、内装材や外装材、建築設備などにも及んで いる。21年から2度目や3度目の価格改定に至ったメー カーも多い。今後、建物や構造物の建設コストは確実に 上昇し、価格転嫁も進んでいくだろう。

一方、価格の変動がかなり急速なので、事業費に及ぼ す影響も大きい。そもそもの事業自体を見直すような動 きにつながっていく可能性もある。資材価格の高騰が、建 設市場を停滞させるリスクも現実味を帯びつつある。



東京17区の生コンクリート(強度18N/mm<sup>2</sup>、スランプ18cm、粗骨材 最小寸法25mm)の価格推移(資料:建設物価調査会の資料を基に日経 アーキテクチュアが作成)



2020年10月以降の木材価格の推移(資料:農林水産省の木材価格統 計調査を基に日経アーキテクチュアが作成)

# 働き方改革の定着に向けて

### ~ 2024年の時間外労働上限規制への対応~

とある建設会社での日常です。中小建設会社のミルアス建設の方たちと、働き方改革の1番のメイン テーマである2024年の時間外労働の上限規制に向けて、一緒に取り組んでいきましょう。

第7回

#### 新規採用戦略



櫻井 好美





丸山社長 先代から会社を引き 継いだ2代目社長。 のんびりとした性格 で、優しい人柄。



鈴木課長 丸山社長を支える、 頼れる存在。気配り も優秀で社内外に 評価が高い。



高橋さん 会社の事務を一手に 担うしっかり者。キャリ ア5年目にして上にも 下にも人望が厚い。



木村くん 入社2年目の元気な 若手社員。表裏のない 性格で思ったことはす ぐ口にしてしまう。



社長、先月退職者もでていますし、新規採用をお願いします。

あれ? 求人はだしているはずだけどなー



他と比較して条件がよくないのでしょうか? 何が原因なのでしょうか?





そうだな。条件の問題なのかな?他の会社はどうなっているのか先生に聞いてみよう!!

ハローワークにも求人媒体にもお願いしていますが、問い合わせもありません。

~櫻井コンサルタント登場~



先生、求人をだしているのだけど、全然、人がこないですよ。







出来れば経験者がいいけど、なかなか集まらないから未経験でもいいかなー。



そうですか・・・。



経験者と未経験者では求める資質も労働条件も違うと思いますが、明確に求人票には記載 していますか?





うーん。給与は20万~35万でだしているよ。

違いは給与だけですか?どのような仕事内容で、必要な経験、求める基準は記載していませんか?





最近は求人票だしてもあまり反応がないので、詳しくは書いてないです。



ダメですか?

そうですね。今はどの会社も人手不足で、求人数もかなり増えています。求職者も多くの求人の中 から、自分にあった会社を探さなくてはいけないのです。そうなると、求人票で業務内容がイ メージできない、労働条件もあいまいな求人は選ばれませんね。





そうなのか。給与の金額だけじゃダメなのか・・・。

社長、大丈夫ですよ。もう少し詳しく次のページで順番にご説明しますね。



### 解説します



### なぜ採用が難しいのか?

そもそも働き手である生産年齢人口が減少しているため、絶 対数が減っているということに加え仕事を探す手段が多様化し ていることがあげられます。以前はハローワークや求人媒体と限 られた手段の中で検索をしていましたが、最近ではインスタ、 TwitterといったSNSで検索する方も多くいます。いくら会社が 若い人が欲しいと思っても、彼らはPCを開いて検索するのでは なく、スマホを使いインスタやTwitterで検索をするのです。にも かかわらず、会社は「求人媒体にお金を払っているのに、全然こ

ない」と言います。これは、会社がどういう年齢層で、どういう人材 がほしいかを明確にしていないということに原因があります。 HPにいくら立派な採用サイトを作成しても、そこに導くための手 段がなければたどりつけません。まずは、会社がどういう人材を 欲しいかを明確にすることが第一歩です。

### 求人票作成のポイント

求人情報までの誘導方法は、インスタ等のSNS活用、求人媒 体からのスカウトメール等があります。では、求人内容にたどりつ いたときの求人票作成のポイントを解説します。

### ポクト どのように仕事をするか イメージできますか?

具体的な内容を記載することで、自分がその会社 で安心して働いているイメージがもてるかがポイ ントです。

- 例 ●新築および既存建物の防水、塗装、改修工 事など現場仕事が中心です。
  - ●当社独自の技術があり、OJTによる教育・ 研修に力を入れています。
  - ●作業はベテランも所属するチームでやり ます。
  - ●現在いる職人12名は全員未経験からの スタートです。
  - ●戸建住宅のリフォーム工事における施工 管理職のお仕事です。
  - リフォーム工事のプロフェッショナルとし て、お客様が希望するリフォームを実現。 お客様の夢を実現し、感謝頂けるお仕事 です。
  - 主な仕事内容として、リフォーム予定の お客様と打ち合わせ、その工事に必要な職 人さんの手配、工事完了までの現場管理等
  - ●担当として管理する案件数は、月に10~ 20件程度です。

### ₹ 求職者にとってのメリットはありますか?

会社目線ではなく、求職者にとって何のメリットがあるのかを明確に するのがポイントです。

- 囫 ●工具は会社が支給します。
  - ●最初の1ケ月は座学中心の研修でしっかりサポートします。
  - ●メンター制の導入で、同世代の先輩社員のフォローがあります。
  - ●3年でどこでも通用出来る多能工も夢ではありません。
  - ●仕事で必要な資格は取得費用の支援制度があります。
  - 入社お祝い金制度があります。
  - ●人気のユニホームは年に2回支給します。

### 会社のイメージが伝わっていますか?

「アットホームな会社」では、相手には伝わりません。働きやすさを伝え るには、数字や客観的な指標をいれていくのもポイントです。

- 例 ●創業以来50年、地元の方の暮らしを大切にした家づくりをして きました。工務店のお付き合いは、引き渡してからがスタート。 定期的にお客様を訪問し、お客様のご要望に応じながら、メン テナンスの提案をしていきます。家づくりに未経験の方でも、 先輩社員と一緒に訪問をしながら仕事を覚えていきます。
  - ●年次有給休暇の取得率100%を目指しています。
  - ●月平均残業時間は10時間以内です。
  - ◆くるみん、えるぼしも取得しています。





なるほど。HPだけ作っておけば十分だと思っていたけど、そこに誘導することも考えないといけないのか。

木村くんも高橋さんもインスタやっていたよね?





もちろんです。週末のスイーツ巡りは、インスタ映えしているところに行ってます!!

ん? インスタ映え???





僕は、筋トレ方法みていますよ!!

社長、身近にインスタ使っている人たちがいるじゃないですか。2人に採用ページお手伝いしてもらいましょう。





そうか。私は全然わからないけど、2人にやってもらおう。 私もインスタやってみようかな。

社長もやりましょう!!









第9回



# 水面に立つ柱の下はどうなっている?

日本のモダニズム建築の先駆け、「神奈川県立近代美術館」。 「鎌倉文華館 鶴岡ミュージアム」となった今も、 往時の輝きを放ち続ける。 最大の目せ場は、平家池に面したピロティ。

最大の見せ場は、平家池に面したピロティ。 水面に立つ柱の下は一体どうなっている?

### 神奈川県立近代美術館(現・鎌倉文華館 鶴岡ミュージアム)

■所在地:神奈川県鎌倉市雪ノ下2-1-53

■設計者:坂倉準三建築研究所

■施工者:馬淵建設

■延べ面積:1575㎡

**■構造:**鉄骨造

■階数:地上2階(一部中3階)

■施工期間:1950年12月~1951年11月

### uestior

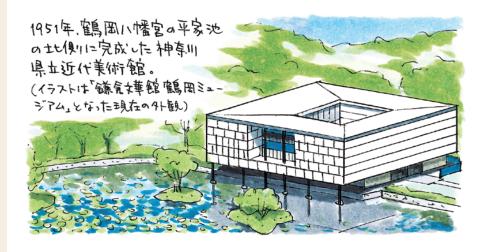
問題

水面に顔を出した 岩の上に立つ鉄骨柱。 水中は どうなっている?



数骨は吊り構造で、水中には何もない

鉄骨が 水底まで 貫通している





# 鉄骨が貫通

「神奈川県立近代美術館」は、戦後間も ない1951年、日本で最初の公立近代美術 館として開館した。敷地は神奈川県鎌倉市 の鶴岡八幡宮境内。平家池の北側に立つ。 設計者はル・コルビュジエに師事し、日本 のモダニズム建築を切り開いた坂倉準三 (1901~69年)だ。

鎌倉にある近代美術館ということで、美 術愛好家の間では「カマキン」と呼ばれた。 神奈川県と鶴岡八幡宮の借地契約満了に 伴い、2016年に閉館。当初は解体して返 還される予定だったが、保存を求める声の 高まりもあり、旧本館については鶴岡八幡 宮が継承していくことになった。

1966年に竣工した新館は解体し、残し た旧本館のみに耐震補強などの改修工事 を実施。2020年、鎌倉の魅力を発信する

广水面

11 11 11

文化交流施設「鎌倉文華館 鶴岡ミュージ アム」となった。今回は、完成当初の話なの でカマキンと呼ぶ。

### 柱を支える岩に注目

カマキンの最大の見せ場は、平家池に面 したピロティだ。2階の展示室が池の上に せり出し、軒裏に水面のきらめきを映し出 す。展示室を支える6本の鉄骨柱(I鋼)は、 水面に顔を出した岩の上にふわりと載る。

日本人はこれを見ると、石の上に木の柱 を立てる「石場建て」を連想する。日本建築 を知る海外の知識人にもそう見えただろ う。だから、全体の形としてはどこも日本的 ではないのに、「日本らしい」と感じる。

では、水面の下はどうなっているのか。選 択肢を繰り返すと、①岩の下部が水底まで 続いている、②鉄骨は吊り構造で、水中に は何もない、③鉄骨が水底まで貫通してい る、の三択だ。①なら「やはりそうか」、②な ら「まさか」なのだが、正解は、一番面白く ない③だ。

实施設計の構

造矩計图も見ると、

L細の柱は水面

の岩も貫通して

水底の基礎に

固定さいている。

そうだったのか!

(3点火も模写)

と岩の継き目が見える。

やはり、載ってはいなかった。

施工時の構造矩計図を見ると、池に立つ I鋼は岩を貫通して水底に伸び、基礎梁に 接続している。①の「巨大な岩の上」では構 造的に安定しないし、②の「吊り構造」では 展示室が片持ちになり、巨大な梁が必要に なる。今もテラスに立って柱の根元をよく 見ると、岩をいったん2つに切った後、鉄骨 の両側から貼り合わせたものであることが 認識できる。

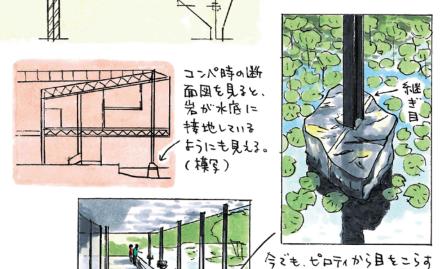
設計者の坂倉準三は、コンペで選ばれ た。コンペ時の坂倉の断面図を見ると、す でに柱の下に岩が描かれており、その岩は 水底に接地しているように見える。あくまで イメージとしてそう描いたのか、設計段階 での検討で鉄骨貫通式に変更したのかは 分からない。いずれにしても坂倉は、構造的 に無理をせず「石場建て風に見せる」道を 選択したのだ。

### 歴史に耐えるフェイクもある

つまり、これは"フェイク"である。モダニズ ムの先兵である坂倉が取ったこの手法に、 完成した当初は批判もあったという。だが、 70年たった今、「あれは許せない」という人 はまずいないだろう。

建築とフェイクの関係について考えると、 例えば、今日当たり前に使われている「突板 (つきいた)貼り」という手法がある。薄くスラ イスした木材(突板)を他の木材などに貼り 合わせるものだ。まさに"フェイク"。しかし、 歴史を遡ると、突板はエジプト文明の時代 から使われていた。中国でも紀元前から使 われていたし、日本でも正倉院の宝物に突 板貼りの工芸品がある。やがてそれは、建築 の部材にも使われるようになる。

フェイクを礼賛したいわけではない。おそ らく、「建築の外に表れるものは、建築を構 成する素材そのものでなければならない」と いう美学は、モダニズム建築が台頭して以 降の極めて短い期間のものなのではない か。そう考えると、フェイク的手法が歴史に 耐えるものかどうかは個々に判断すべきで、 「フェイクだから駄目」と即座に否定するの はどうなのか、と筆者は思うのである。



I-250×125

から編集事務所Office Bungaを 共同主宰。書籍「建築巡礼」シリーズのイラストを担当 参考文献•資料 -

画文家、編集者、BUNGA NET編 集長。1967年生まれ。2016年~ 19年まで建築専門誌「日経アーキ テクチュア」編集長。2020年4月

イラスト・文 -

宮沢洋:

「山梨式 名建築の条件」(山梨知彦著、2015年、日経 BP刊)、「空間を生きた。『神奈川県立近代美術館 鎌倉』 の建築 1951-2016」(2015年、建築資料研究社刊)



### **建設キャリアアップシステム 第4回**

を活用しよう!

### インターネットでの事業者登録の手順

第3回で事業者登録に必要な書類などをご紹介しましたが、今回は、事業者の登録の手順と登録に必要な費用 をご紹介します。

### 1 インターネット申請の手順

1 「建設

### 「建設キャリアアップシステムホームページ」から登録申請

※第3回で記載した必要書類や「申請用ログインID・パスワード」が必要になります。

2

### 登録料金の確認と支払方法の選択

審査終了後に「システム登録料金額のご案内」メールが登録責任者の方に送信されます。 このメールに事業者登録料が記載されますので、メールに記載されたURLからログインページを 開き、支払い金額の確認と支払い方法の選択を行います。

⚠ 注意

**支払方法の選択を忘れ申請手続きが未完のまま止まってしまう**方が多くなっています。 ご案内メールを**受け取っただけでは申請完了となりません**のでご注意ください。

3

### 事業者登録料の支払い

払込票による支払いを選択された方は、

後日送付される払込票で事業者登録料の支払いを行ってください。 払込票は登録責任者の方あてに送付されます。

4

### 建設キャリアアップシステム事業者情報登録完了

登録責任者の方あてに事業者ID、管理者IDが通知されます。





### 2 事業者登録料

登録申請に必要な「事業者登録料」は事業者の資本金に応じて11段階に分かれています。 なお、事業者登録の有効期限は5年間となり、5年ごとの更新の際に、更新料が必要になります。

### 事業者登録料 5年ごと

資本金	新規·更新	資本金	新規·更新
500万円未満	6,000円	<b>3億</b> 円以上 <b>10億</b> 円未満	240,000円
500万円以上 1,000万円未満	12,000円	10億円以上50億円未満	480,000円
1,000万円以上 2,000万円未満	24,000円	<b>50億</b> 円以上 <b>100億</b> 円未満	600,000円
2,000万円以上 5,000万円未満	48,000円	<b>100億</b> 円以上 <b>500億</b> 円未満	1,200,000円
5,000万円以上 1億円未満	60,000円	<b>500億</b> 円以上	2,400,000円
<b>1億</b> 円以上 <b>3億</b> 円未満	120,000円		

※ 個人事業主の方の登録料は6,000円です

### 令和5年1月スタート

# 建設業許可・経営事項審査の

# 電子申請が始まります!



# 建設業許可。経営事項審査 電子申請システム (JCIP))

※一部の行政庁では、令和5年1月からの電子申請受付は行いません。

### 電子申請のメリット



### **トト 会社・自宅からインターネットで申請**

会社や自宅のパソコンから、インターネットで申請・届出書類を作成し、申請・届出ができますので、行政庁への**訪庁や郵送での申請・届出が不要**になります。

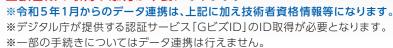


※従前通り、紙媒体による申請も受け付けます。 ※変更届も対象です



### **>> データ連携により書類の取得・添付が不要**

法務省(登記事項証明書)、国税庁(納税情報)等とのデータ連携により、 当該書類の取得や添付が不要になります。







### **▶▶** 外部データの取込、前回申請データの再利用

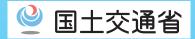
外部のアプリケーション等で作成した<mark>データの取込や前回申請した</mark> <mark>データを利用した申請書類の作成</mark>ができますので、入力の手間が 省けます。





#### **>>** エラーチェック、自動計算

**システムによるエラーチェックや自動計算**を行いますので、申請書類の作成に係る手間が省け、 作成誤りがなくなります。





### アクティビティーズ・ **Ctivities** 輝く活躍人にせまる

### 暮らしをつなぐ快適な道路を築く!地域の人びとの笑顔を支える"建女"

現場全体を見渡しながら周りの職人と言葉を交わし、時に笑顔を浮かべながらてきばきと舗装工事を進める――青空の下でひときわ輝く姿が印象的な、東信建設株式会社の岡 理恵子さん。1級土木施工管理技士として、これまでに数多くの道路舗装の現場を担ってきた。

「今行っている切削作業は、路面の表面の凸凹を削り取り、舗装により元のきれいな形に戻す工事。人や車が快適に通行できるよう、厚さや平坦性が確保されているかなどを入念にチェックしながら工事を進めています。特に人の目に触れる表層の部分には気を配っていますね。自分自身でも"きれいに舗装できたな"と思える道路は、竣工後に通行する際も気持ちよく感じます」。

現場の管理だけでなく、書類の作成や発注者とのやり取りなど、様々な業務が求められる。天候にも大きく左右されるため、調整力や根気強さも必要とする仕事だ。「以前に携わった住宅街での舗装工事はちょうど梅雨時期に重なってしまい、工程通りに進捗しない事がありました。その際には道路に隣接する地元住民の方に一軒一軒ご挨拶をして、工事の延長をご説明して回りました。顔を覚えていただくことが工事への理解にもつながり、作業中にも"きれいな道路になってきたね"と温かい声をかけていただくきっかけになりました」と笑顔を見せる。人見知りと自身を評する岡さんだが、地域の方をはじめ、現場を共に担う職人とのマメなコミュニケーションが確かな仕事につながっているようだ。

2018年には、福島県建設業協会の女性部会として発足した『ふくしま建女会』に幹事として名を連ねた岡さん。『ふくしま建女会』では活動の一環として、福島県内の建設系学科で学ぶ女子高校生たちと座談会形式で懇談する事業に協力している。「県内で働く女性技術者の皆さんと共に始めた『ふくしま建女会』は、建設業の魅力をアピールして若い方の雇用を増やそうという想いのもとで始まったものです。高校での座談会では、私たちが普段行っている仕事内容を伝えたり、高校生たちが不安や疑問に感じる点に答えたりするアドバイザーとして参加し、将来彼女たちが入る業界への興味をより深めてもらえるよう図っています。よく尋ねられるのは、職場の女性比率や現場の環境のこと、資格がどれほど重要か、などですね。せっかく建設系学科を卒業しても他の分野に進んでしまう子たちが少なくないと聞きますから、私たちが業界の魅力を伝えることで建設業にもっと多くの女性が入職し、若い世代にとっても同期の多い楽しい職場になればと願っています」。

「今は多くの仕事でリモートが主流になり、建設業でも機械化や自動化が進んでいますが、実際に現場を動かし作業を行っているのは"人の手"です。そのぶん、他の分野では味わえないやりがいを感じられるのもこの仕事の魅力だと思います。少しでも興味があるなら、まずは恐れずやってみてほしいですね」とエールを送る岡さん。仲間と一体で道を築いてきたその姿は、たくましくも温かだ。





### (一社)福島県建設業協会 ふくしま建女会

http://www.e-fukuken.or.jp/kenjokai/index.html

